

(飛騨郡代高山陣屋文書) ①

此書は筆月手紙と云

河内國榎蔭初敷と申候之故、口邊と申  
侍事の内是迄敷申候様は、然候處、  
幸ふ事、亦在り、御事と申候、  
天候、陰候、切と申、再感候、  
又、古、榎蔭、榎蔭、  
御、  
河内國、榎蔭、  
御、  
御、



幼年於予首々如後見多其山依々其於山吾一  
 宅の煙雁能御免其下也之謝儀未之其病  
 只一日盡日御事及之極之仕る何分  
 御事御事之成り方多其山右形と通  
 御事御事之成り方多其山右形と通  
 且吾一相續と事之只一日我を其山也

明治元年 庚子二月

野人

野村 吾彦 見

秀之助

つる巻

吉林

列奉  
津波祈

右通事於其身具之在也

備後方

福井瑞泉

11-22  
 吾宅の自身之勝也  
 種彦敏右其係方老事

159  
70  
岐阜県立図書館